

特集

今こそあなたに現象学

現象学はあなたにとってもおもしろい！ 榊原哲也

実習指導のなかでの教員の経験を振り返る

現象学の視点から 高橋多佳子

学生の学びを現象学でよみとく 前川幸子

「看護教員」の志向性——インタビュー分析実例 西村ユミ

【新連載】

考える力を育てるシンキングツールの活用・1 黒上晴夫

【連載】

笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命！・4 W マコト

臨床教育学 わからないこととの出会い・4 遠藤野ゆり

看図アプローチへの招待・4 鹿内信善／徳永基与子ほか

アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・13

嶋澤恭子

宮子あずさのエキサイティング Writing・16 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・24(最終回)

斉藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●「カリキュラム・イノベーション」という本が、東京大学出版会から昨年10月に発行されました。アクティブラーニングの時代にカリキュラムに何が求められるのかを提議し、「リテラシーをどう育むか」「うつ予防プログラムの開発」「社会における学びと身体性」「地方発のカリキュラム開発の可能性と課題」などの項目で、新たなカリキュラム構築が求められていることがよくわかる内容です。●翻って看護教育を見ると、どうしても学校(大学)の自由裁量範囲が小さいため、イノベートしようにもどうしたらいいかと悩む先生方が少なくないと思われます。そこで、準正課の活用に注目していただきたいと思います。“雑務”とか追加の仕事と思わず、正課を補う内容を充実させることで、学生の学びは深まり、さらには学校(大学)の個性を打ち出していけると思います。……大野

●宮子さんの連載で、「倫理」をテーマに、信仰と医療の葛藤について触れられている原稿が届いたころ、イアン・マキューアンの「未成年」を読んでいました。家族全員が熱心な「エボラの証人」のため、白血病を患いつつも輸血を拒む青年と、児童保護的な立場で、病院側から青年を説得するよう依頼を受けた、ベテラン看護師の女性との邂逅がメインの小説。輸血拒否は両親による信仰の押しつけが、青年自らの判断と言えるのか、面談を通じ、彼女は青年の明晰さ、そして生きる意志を感じ取り、いっぽうの青年も、ずいぶん年上の彼女との出会いに重要な啓示を受け取ります。●話の筋はこれだけではなく、上品なやりきれなさを抱えて二転三転しますが、成熟したプロとして生きることの充足、現実とのほろ苦さが通底しています。看護師と弁護士、寄って立つものは違っても、きっと共感されるところがあるのでは、と思います。……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第57巻 第3号 2016年3月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2016年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.57 No.2

2016 年 2 月
特集

看護観の伝承

看護師ならば、一度は「あなたの看護観はなんですか」と尋ねられた、あるいはレポートなどに書いた経験があるのではないかと、思います。

基礎教育の現場では、多くの先生が、良い看護観を学生に養ってほしい、という思いを抱かれています。それでは、そうした先生は、どのように看護観を養われてきたものでしょうか。多くの出会いや経験のなかで育まれてきたものとはいえ、源流の 1 つには、恩師と呼ぶべき存在から、受け継いだものがあるのでは、と思います。

今特集では、さまざまな世代の先生方が、ご自身の「師」にあたる方々の、どのような振る舞いや言葉から「看護観」を感じ、学ぶ経験とつながっていたのか、そしてそこで得られたそれぞれの「看護観」を、自身のなかで変化もさせつつ血肉と化し、後進にどのように伝えていこうとされているのか、実践にそってご執筆いただきました。読者のみなさまも、自身のこれまでの歩みをふり返り、学生さんにどのように看護観を伝えていくか、とらえ直していただくきっかけとして頂ければ幸いです。

■看護とは科学であり、アートである——
伊藤暁子先生に教わった「看護観」「看護教育観」……………山西文子

■恩師の遺言「看護は患者との信頼のうえに成り立つ」……………江川万千代

■看護は変化を起こすものである——
「村松静子先生の電話」から受け取ったもの……………丸山育子

■看護師は患者の回復をあきらめない——
紙屋克子先生の信じる強さ……………日高紀久江

■愉しみつつ、教育の信念を貫き具現化する——
安酸史子先生の姿勢から……………増満誠



Vol.57 No.1

2016 年 1 月
特集

形・型・可で 技術教育の「安楽」を考えよう！

看護教育においては、理論や思考はもちろん大事ですが、実践家を育てるという意味でもっとも求められるのが技術ではないかと思えます。いかにその技術を教育するかを多くの先人が考え、試し、確立してきました。メディアの発達により情報を得る手段は、絵から写真へそして画像へと進化し、再現性、継続性のアップが図られてきた結果、技術教育はある程度成熟した感があります。にもかかわらず、臨床現場からは看護の基礎技術など内容の崩れが目立つという声も聞かれます。結局、いくら教育内容が充実していても、実際にそれに費やす時間やエネルギーが不足しているのではないのでしょうか。

そんな今だからこそ、技術教育の重要性を見直そうと組まれたのが今回の特集です。武谷三男が提唱した、技術の三段階論「形・型・可」という枠を通して、看護師がその専門性をもっとも発揮し得る「安楽」を、教育現場にどのように取り込んでいけばいいかを考えます。

「安楽」という単語は一般的な言葉ですが、実は日常ではあまり用いられないもの。だからこそ、ここに看護の原点があるのではないのでしょうか。

■安楽を図る技術の習得教育 形・型・可に添って……………川嶋みどり

■技術教育にいま足りないもの ロールモデルとしての姿勢から……………水澤晴代

■看護基礎教育における技術の習得過程と安楽の意識化……………水戸優子／山口みのり

■「非」と「安楽」 看護技術教育における「可」の姿……………阿保順子



【2015 年 12 月号 (Vol.56 No.12)】

グラフィック・シラバスとカリキュラム・マップ 授業とカリキュラムを「見える化」しよう！

【2015 年 9 月号 (Vol.56 No.9)】

「看護研究」で
実践力を鍛える

【2015 年 11 月号 (Vol.56 No.11)】

学生の答え、ちゃんと待てますか 今こそ知りたいファシリテーションの心構え

【2015 年 8 月号 (Vol.56 No.8)】

グループワークを
「本物」にしよう！

【2015 年 10 月号 (Vol.56 No.10)】

あらためて
How to ロールプレイ！

【2015 年 7 月号 (Vol.56 No.7)】

看護過程再考

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014 年 1 月号 (Vol. 55, No. 1) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2014 年 2 月号 (Vol. 55, No. 2) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。